

公立病院改革プランの主な内容

都道府県名		山形県														
団体名		山形県				地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構	山形市	米沢市	鶴岡市		酒田市	寒河江市	天童市	西川町	朝日町	最上町
病院名		中央病院	新庄病院	河北病院	鶴岡病院	日本海総合病院 酒田医療センター	山形市立病院済生館	米沢市立病院	鶴岡市立荘内病院	鶴岡市立湯田川温泉 リハビリテーション病院	酒田市立八幡 病院	寒河江市立病院	天童市民病院	西川町立病院	朝日町立病院	最上町立最上 病院
公立病院改革プラン策定日 (※策定予定の場合は、「H21年〇月予定」と記載)		平成21年3月30日				平成21年2月27日	平成21年2月6日	平成21年3月18日	平成21年3月2日	平成21年3月26日	平成21年2月13日	平成21年3月31日	平成21年6月24日	平成21年2月28日	平成21年3月12日	平成21年3月30日
経営収支黒字化目標年度		平成23年度(県立4病院全体で黒字化)				平成21年度	達成済	平成27年度	平成25年度	指定管理者を導入しているため設定していない	平成21年度	平成23年度	平成25年度	平成21年度	平成23年度	平成23年度
経営効率化に係る計画	平成20年度財務に係る経営指標数値(実績)	経常収支比率(%)	98.4	100.7	91.8	100.6	100.8	100.4	94.5	91.5	96.7	107.9	99.5	81.9	101.2	99.6
		職員給与費比率(%)	58.4	64.5	77.0	118.9	51.8	55.2	65.7	51.0	0.4	66.8	72.0	77.7	70.7	78.4
		病床利用率(%)	86.2	78.0	73.0	84.0	85.7	78.3	79.7	82.4	97.9	93.4	69.4	76.8	55.5	58.1
	財務に係る数値目標(平成23年度)	経常収支比率(%)	100.3	102.6	97.2	98.6	101.2	104.1	97.8	97.2	97.5	106.8	100.8	97.7	100.1	100.6
		職員給与費比率(%)	59.3	63.6	72.7	117.8	51.9	53.2	62.7	47.8	0.4	65.2	59.9	54.7	72.7	76.1
	病床利用率(%)	88.0	79.0	94.4	68.0	84.5	82.3	85.8	93.3	96.0	92.5	80.0	82.5	58.0	70.0	
再編・ネットワーク化に係る計画	再編・ネットワーク化の結論の取りまとめ(予定)時期	平成20年12月22日				平成21年2月	平成21年2月	平成21年2月	平成21年2月	平成20年度	平成25年度	平成23年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度
	再編・ネットワーク化の枠組みまで合意している場合は○を記入(既に再編・ネットワーク化を実施している場合は◎を記入)(以下①から⑤まで記入)	○	○	○	○	◎	(○)		◎	◎			(◎)			
	①再編・ネットワーク化の具体的な内容	計画期間中に、市内公的病院等の診療機能を踏まえた診療機能の検討等を行う。	新庄病院を核とした、町立病院との医療連携ネットワーク体制の構築等を図る。	計画期間中に、中央病院との連携・分担の検討等を行う。	精神科救急、児童思春期、社会的ストレスなど多様なニーズに対応するため、機能の見直しを図る。	県立病院と市立病院を統合再編し、地方独立行政法人化。日本海総合病院は増床して急性期医療等の役割を担い、酒田医療センターは減床して回復期医療等の役割を担う。	平成20年3月に策定された「山形県保健医療計画」に基づき、医療機能の役割分担、連携推進を図る。特に「4疾病5事業」に関して、当院に求められる医療機能が明確にされており、それぞれの医療機能と連携を密にしながら、医療機能の分担を図る。		ネットワーク化について①地区医師会等との協議による地域救急診療体制の確立②地域医療支援病院としての地域医療機関への支援や地域連携・アクセスの作成・運用に取り組む。					病診連携診療支援システムでの電子カルテネットワーク		
	②再編・ネットワーク化に係る関係地方公共団体がある場合はその名称					山形県 酒田市										
	③平成22年3月末までの上記再編・ネットワーク化の進捗状況(上記計画のうち平成22年3月末までの実施部分)	産科の母体や胎児・新生児の高次医療を担う総合周産期母子医療センターの設置工事を実施した。(平成22年4月運用開始)	ITを活用した医療情報連携の構築に関する協議を進めている。	平日・夜間救急診療支援体制の拡充を行った。		平成22年9月に「地域がん診療連携拠点病院」の指定更新を受け、地域におけるがんの役割、機能分担が明確化された。			①市の休日診療所の設置が平日夜間にも拡大する方向で、夜間1次救急の役割分担が進むこととなる。 ②地域連携については、大瀧音頭部新着、調音中を運用中。	地域連携クリティカルパスや医療情報IT化によるネットワークづくりの推進				平成20年度から実施		
再編・ネットワーク化を検討中の場合	検討中の場合は○を記入(以下④及び⑤を記入)					○		当面は、再編・ネットワーク化を念頭に置きながら地域医療連携の推進を図っていく。		○	○	○	○	○	○	
④再編・ネットワーク化の検討体制(協議機関の名称等)						山形県が二次保健医療圏ごとに設置した、「地域自治体病院懇談会」				事務レベルで検討	地域自治体病院懇談会	天童市民病院運営会議	西村山・北村山地域等の医療機能意見交換会	病院内において検討を行い、政策調整会議で協議	最上地域自治体病院懇談会	
⑤再編・ネットワーク化検討の方向性						上記協議会において協議した結果、平成20年12月には、二次医療機関や高齢者病院などの高度な医療機関が山形市に集中しているため、重複する医療機能についての役割分担や連携について、検討を行うこと」と盛り込まれている。				平成22年度で組織を立ち上げ検討	関係機関の協議により、機能の明確化と役割分担を推進する。自治体病院は地域医療に貢献することを目的とする連携について協議中。	山形県立中央病院との間で術後安定期に入った患者の入院等を引受け、リハビリ室を利用した機能回復及び社会復帰支援を行うことを目的とする連携について協議中。	機能分担と連携による医療提供体制の拡大、診療科目の統合、病床の統合	町内唯一の病院であり、再編した場合の弊害が大きいことから今のところ再編は考えていない。今後とも議論の場が必要。なお、病診・病診連携については、町内3つの民間診療所及び山大・県中等とこれまで以上に連携を図っていくこととしている。		
経営形態の現況(平成22年3月末現在(一部適用、全部適用、地方独法、指定管理者等の区分を記入))		全部適用				地方独立行政法人	一部適用	全部適用	一部適用	指定管理者制度	一部適用	一部適用	一部適用	一部適用	一部適用	一部適用
経営形態の見直し(予定)時期		平成21年3月(当面は現形態を継続)				平成20年度	平成23年度	平成22年度	平成22年4月1日	平成21年度	平成25年度	平成23年度	平成22年4月1日	平成25年度	平成25年度	平成25年度
経営形態の見直しの方向性(※実施の場合は●、決定済みの場合は◎、検討中の場合は○、検討対象範囲にすべて○を記入)	公営企業法全部適用	●	●	●	●		○	●	◎		○	○	◎	○	○	
	地方独立行政法人					●	●				○	○				
	指定管理者制度										○		●			
	民間譲渡										○					
	診療所化										○					
	老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行										○			○		

公立病院改革プランの主な内容

都道府県名		山形県									
団体名		真室川町	高島町	小国町	白鷹町	北村山公立病院組合	置賜広域病院組合				
病 院 名		町立真室川病院	公立高島病院	小国町立病院	白鷹町立病院	北村山公立病院	公立置賜総合病院	公立置賜長井病院	公立置賜南陽病院	公立置賜川西診療所	
公立病院改革プラン策定日 (※策定予定の場合は、「H21年〇月予定」と記載)		平成21年3月30日	平成21年3月19日	平成21年3月26日	平成21年3月25日	平成21年3月27日	平成21年2月5日				
経営効率化に係る計画	経営収支黒字化目標年度	平成21年度	平成25年度	平成23年度	平成21年度	平成26年度	平成29年度	平成22年度	平成22年度	平成23年度	平成23年度
	平成20年度財務に係る経営指標数値(実績)	経営収支比率(%)	101.6	96.2	87.1	100.3	98.7	97.5	107.7	103.0	103.0
	職員給与費比率(%)	65.4	64.0	72.6	63.5	51.9	53.5	60.8	62.2	87.0	
	病床利用率(%)	88.0	87.9	80.4	79.3	89.3	91.2	88.5	95.7	-	
	財務に係る数値目標(平成23年度)	経営収支比率(%)	100.3	97.6	100.0	100.0	98.7	94.7	100.0	100.0	100.0
職員給与費比率(%)	65.8	62.0	71.1	62.1	50.5	52.7	61.4	61.3	89.9		
病床利用率(%)	90.6	92.0	82.0	81.0	91.7	90.0	91.8	95.0	-		
再編・ネットワーク化に係る計画	再編・ネットワーク化の結論の取りまとめ(予定)時期	平成26年3月	平成21年3月	平成21年3月	平成26年3月31日	平成21年3月	平成21年2月(継続合意の時期)				
	再編・ネットワーク化の枠組みまで合意している場合は○を記入(既に再編・ネットワーク化を実施している場合は◎を記入)(以下①から③まで記入)						◎				
	①再編・ネットワーク化の具体的な内容						平成7年11月に県及び二市二町による一部事務組合を設立し、平成12年11月に既存の三市町立病院(812床)を再編、512床の基幹病院とサテライト医療施設(二病院160床、1診療所)を開設した。平成21年2月に病院改革プランを作成する際、現行のサテライト方式を継続するとともに現形態の検証を行っていくことで構成団体間で同意している。				
	②再編・ネットワーク化に係る関係地方公共団体がある場合はその名称						山形県、長井市、南陽市、川西町、飯豊町				
	③平成22年3月末までの上記再編・ネットワーク化の進捗状況(上記計画のうち平成22年3月末までの実施部分)										
再編・ネットワーク化を検討中の場合	検討中の場合は○を記入(以下④及び⑤を記入)			○	○	○					
④再編・ネットワーク化の検討体制(協議機関の名称等)	最上地域自治体病院懇談会			未定	置賜地域自治体病院懇談会	北村山公立病院改革プラン検討委員会 村山地域自治体病院懇談会					
⑤再編・ネットワーク化検討の方向性				公立置賜総合病院との間で、地域連携クリティカルパスや医療情報のIT化を一層強化し、ソフト面でのネットワーク医療連携をより一層推進していく。	公立置賜総合病院を中核病院とした役割分担による地域医療情報ネットワークの構築	当面は医療福祉連携室を中心に地域医療機関等との連携強化を図る					
経営形態の現況	平成22年3月末現在(一部適用、全部適用、地方独法、指定管理者等の区分を記入)	一部適用	全部適用	一部適用	全部適用	一部適用	一部適用				
経営形態の見直し(予定)時期	平成26年3月	平成21年度	平成23年3月	平成21年3月25日	平成21年3月	平成23年度(現形態の検証)					
経営形態の見直しに係る計画	公営企業法全部適用	○	●	○	●	○	○	○	○	○	
	地方独立行政法人(※実施済みの場合は●、決定済みの場合は◎、検討中の場合は○を記入)						○	○	○	○	
	指定管理者制度						○	○	○	○	
	民間譲渡										
	診療所化										
老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行											